

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5 年 2 月 27 日

事業所名 まきば

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--|--|----|--|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 学習ルームとプレイルームを別けている | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | 補助のため、非常勤職員も配置している | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | 転倒しないように配慮している | 玄関の段差があるので、職員が見守りと声掛けを行っている |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | 学習ルームとプレイルームを別けている | |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | 業務改善会議を開催 | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | 保護者の意向やニーズの把握をおこなっている | アンケートを実施している |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | 自己評価表をホームページに掲載している | 事業所の掲示板で公表公開 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていけるようにしていきたい |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 事業所内研修を開催 | 外部研修を予定していたが、中止になっている |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | 保護者の意向やニーズを把握して立案している | 担当者会議を開催 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 大阪市の「利用者調査票1・Ⅱ」を使用している | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | 発達支援に重点を置いて、個別・集団・運動・創作・学習をメインに児童にあった支援を行う | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | 職員会議を開催して確認している | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | 個別で課題に合った活動の立案を行っている | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 季節の行事を取り入れている | プリント、遊具を入れ替えて固定化しないようにしている |
| 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している | ○ | | 発達支援に重点を置いて、個別・集団・運動・創作・学習をメインに児童にあった支援計画を作成している | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|------------------------------|--|---|-----|-----------------------------|-----------------------------|----------------------|
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 職員会議を開催 | 前日・当日の申し送りを行っている |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 職員間の連絡ノートを活用している | 気づきノートを作成している |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 支援ノートを活用している | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | 担当者会議を開催 | |
| 関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 管理者・児発管が参加 利用者の状況を報告 | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | | 体制を整えている |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | 該当者なし | 体制を整えている |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | ○ | | 該当者なし | 協力医療機関と連絡体制を整えている |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 園訪問し情報交換を行っている | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 学校訪問し情報共有している | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 関係機関主催の研修会に参加、情報交換をしている | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | ○ | | 地域の公園で遊んでいる児童と交流する時がある | コロナ禍で交流が出来ない |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | NPO法人自立支援推進協議会 JOTO 児童部会に参加 | 地域の情報が入手できる |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 保護者会や個別面談会を開催 | 送迎の時にも状況の報告、伝達を行っている |
| 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | | 家族間の困りごとの相談や対応方法の提案をおこなっている | ペアレント・レーニング研修の家族参加をすすめている | |
| 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 契約時に個別面談で説明をしている | 利用者負担の有料や無償等変更があった時にも説明している | |
| 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | 児童発達支援計画の同意書に署名、押印している | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----|----------------------------|---|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | 電話・訪問、来所、電話で対応している | LINEやメールも利用している |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | 保護者交流会を開催 | 保護者の都合で参加出来ない方が多く、参加メンバーは決まっている コロナ禍で交流が出来ない |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 電話・訪問、来所、電話で対応している | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | 文章やメールで通知している | LINEやメールも利用している |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | 鍵付き書庫に書類を保管している | |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | 連絡ノート、メールを活用している | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | 事業所内覧会を開催 | クリスマス会、事業所内覧会を開催 コロナ禍で行事を中止している |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | 災害時に保護者への連絡体制でLINEの登録をしている | マニュアル作成、保護者に説明 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 事業所内で避難訓練をおこなっている | 救急救命講習会に参加 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | 保護者からの情報を職員に報告している | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | 保護者からの情報を職員に報告している | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | 研修会を開催 | 研修会で事例検討を行っている |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 研修会を開催 | 研修会で事例検討を行っている |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | 職員会議を開催 | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。